

湿地のグリーンウェイブ・プレ「ラムサールCOP11」イベント



世界湿地の日シンポジウム

in 渡良瀬遊水地

2012年2月18日(土)

10:00～17:00 (開場 9:30) ●資料代：500円

栃木市栃木文化会館 小ホール

東武日光線・JR両毛線栃木駅から徒歩15分(裏面に会場の地図、交通案内があります)

●主催：ラムサール・ネットワーク日本(ラムネットJ)
渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

●後援：WWFジャパン、公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本自然保護協会

2月2日は、湿地保全の国際条約であるラムサール条約が制定されたことを記念する、世界湿地の日(WWD: World Wetlands Day)です。また、今年は第11回ラムサール条約締約国会議(COP11)が、7月にルーマニアのブカレストで開催されます。そこで、世界湿地の日を記念し、ラムサールCOP11の国内プレ・イベントとして、このシンポジウムを企画しました。

第1部では、ラムネットJが2011年から実施している春の湿地保護全国キャンペーン「湿地のグリーンウェイブ」の参加団体が、キャンペーンでの活動内容や各地の湿地保全の状況について報告し、2012年の湿地のグリーンウェイブに向けて意見交換などを行います。

第2部では、COP11で条約への登録を目指している渡良瀬遊水地と、兵庫県豊岡市の円山川下流域に焦点をあて、条約登録の意義や今後の保全構想などについて発表します。さらに、2つの湿地に共通した課題や、保全推進における連携の可能性などについてディスカッションを行います。

第1部 湿地のグリーンウェイブ2011～2012 (10:00～12:40)

●湿地のグリーンウェイブ2011全体報告：安藤よしの(ラムネットJ)

●各地からの報告

- 松川浦：新妻香織(はげっ子倶楽部) 渡良瀬遊水地：猿山弘子(渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会)
- 東京港野鳥公園：金井 裕(日本野鳥の会) 三番瀬：立花一晃(三番瀬のラムサール条約登録を実現する会)
- 吉野川：井口利枝子(とくしま自然観察の会) 博多湾：松本 悟(ウェットランドフォーラム)
- 諫早/泡瀬：陣内隆之(有明海漁民・市民ネットワーク/泡瀬干潟を守る東京連絡会)

●討論：すべての湿地を結ぶグリーンウェイブ

コーディネーター：花輪伸一(ラムネットJ)

パネリスト：安藤よしの/新妻香織/猿山弘子/金井 裕/立花一晃/井口利枝子
松本 悟/陣内隆之

第2部 渡良瀬遊水地と豊岡・円山川下流域の条約登録で進める湿地保全 (13:40～17:00)

●渡良瀬遊水地と豊岡・円山川下流域が条約登録されることの意義：浅野正富(ラムネットJ)

●渡良瀬遊水地をエコ・ミュージアムに：高松健比古(渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会)

●豊岡から広げるコウノトリ・ネットワーク：佐竹節夫(コウノトリ湿地ネット)

●討論：コウノトリでつなぐ豊岡と渡良瀬遊水地

コーディネーター：呉地正行(日本雁を保護する会)

パネリスト：佐竹節夫/花輪伸一/高松健比古/青木草彦(わたらせ未来基金)
河地辰彦(日本野鳥の会栃木)

■お問い合わせ：渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会 事務局

TEL 0285-25-6577(浅野正富法律事務所内) Eメール m-asano@msd.biglobe.ne.jp

★ラムネットJのウェブサイトでも最新情報をご案内しています……<http://www.ramnet-j.org/>



三番瀬

写真提供：田久保晴孝



吉野川(シオマネキ)

写真提供：井口利枝子



渡良瀬遊水地

写真提供：堀内洋助



円山川下流域(コウノトリ)

写真提供：荒川秀夫

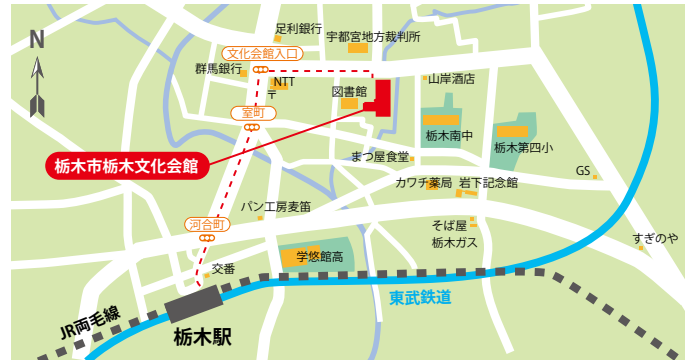
ラムサール登録を契機に コウノトリ舞う渡良瀬遊水地の実現を目指して

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

ラムサール条約湿地に登録する際には、保全の法的担保が必要とされています。従来は、環境省所管の法律による法的担保しか認められていませんでしたが、渡良瀬遊水池と豊岡・円山川下流域について環境省と国土交通省が協議した結果、土地利用規制に関しては河川法に基づく河川区域、鳥獣保護に関しては国設鳥獣保護区の普通地区を法的担保とする登録が認められ、現在、鳥獣保護区の指定手続きが進められています。今回、国土交通省が所管する河川法が法的担保の一つに加わったことの意義は大きく、今後、渡良瀬遊水池と円山川下流域を先例として、河川区域に指定されている全国の重要湿地が条約登録されていく道が開かれました。

渡良瀬遊水池では2010年3月に渡良瀬遊水池湿地保全・再生基本計画が策定されており、治水と湿地保全・再生の両立を目指す同計画に基づく事業が推進されることで、ラムサール条約が目標とする「湿地の賢明な利用」に大きく貢献することが期待されます。また、地元の小山市では、遊水池周辺でコウノトリの野生復帰を目指す取り組みも開始されており、ラムサール登録を契機に遊水池とその周辺地域の「生物と人にとっての暮らしやすい環境づくり・地域づくり」が進められようとしています。2005年にコウノトリの野生復帰を成功させた豊岡市の市民と交流を重ねながら、遊水池の地元4市2町の市民が一丸となって、コウノトリが舞う渡良瀬遊水池の実現に取り組んでいきましょう。

栃木市栃木文化会館マップ



〒328-0035 栃木県栃木市旭町12-16 TEL 0282-23-5678
東武日光線・JR両毛線 栃木駅北口より徒歩約15分。
●東武線をご利用の場合は、日光線浅草駅より栃木駅下車（快速で約90分）
●JR線をご利用の場合は、湘南新宿ラインで新宿駅より小山駅まで（約90分）。両毛線に乗り換え栃木駅下車（約12分）。

都心から栃木駅へのアクセス（列車時刻：2月18日）				
栃木 9:26	東武伊勢崎線快速・東武日光行	北千住 8:21	浅草 8:10	
		JR常磐線・土浦行	JR山手線	
		新宿 7:42	日暮里 8:08	東京 7:51
栃木 9:36	小山 9:24	JR新幹線なすの253号	東京 8:20	
栃木 9:36	小山 9:24	JR快速ラビット・宇都宮行	赤羽 8:07	上野 7:58
	JR両毛線・高崎行	JR埼京線・大宮行	新宿 7:48	

春の湿地保護全国キャンペーン 湿地のグリーンウェイブ2012

サイトから流域へ
～湿地がつなぐ自然と人々～

●キャンペーンへの参加団体／参加イベント募集中!!

ラムサール・ネットワーク日本（ラムネットJ）では、2010年の田んぼのグリーンウェイブを湿地全体に発展させて、昨年から「湿地のグリーンウェイブ」として開催しています。2012年もこのキャンペーンに参加していただける団体を募集中です。

湿地のグリーンウェイブは、1997年に諫早湾が閉め切られた日である4月14日（干潟・湿地を守る日）から、世界中でグリーンウェイブが実施される5月22日の生物多様性の日までを、湿地と生物多様性の保全を普及・推進する期間として、自然観察会、生きもの調査、田植え、シンポジウムなどの活動を全国で連携して行い、湿地の生物多様性保全と賢明な利用を広く知らせようという活動です。2011年は40以上の団体が全国各地でさまざまな取り組みを行いました。

このキャンペーンが、みなさまの地域の湿地保全・賢明な利用の手助けとなり、保全の輪が広がることを願って、今年の春も「湿地のグリーンウェイブ」を実施します。たくさんの団体の参加をお待ちしています。



●キャンペーンの内容

4月14日～5月22日を中心とした4月～6月に、湿地保護に関するイベントを「湿地のグリーンウェイブ」参加イベントとして登録し、各地で自由に自主的に開催していただきます。

ラムネットJ事務局では、参加団体のイベントを紹介したリーフレットを作成して全国に配布し、マスコミに広報を行います。また、ホームページにイベント案内や実施報告などを掲載します。キャンペーンの成果は、ラムサール事務局、生物多様性事務局に報告するとともに、ラムサールCOP11会場での展示発表や、国内での報告集会の開催なども予定しています。

●参加イベント受付締切

リーフレットの作成のために、参加イベントの受付は2012年2月28日を第1次締切とします。リーフレットへの掲載はできなくなりますが、3月以降も参加申し込みは随時受け付けます。

●お申し込み・お問い合わせ

下記までご連絡いただければ、詳しい開催要項と参加申込書をお送りいたします。（ラムネットJ事務局 担当：安藤、陣内）
Eメール event2012@ramnet-j.org FAX 03-3834-6566

湿地のグリーンウェイブ
2011年のイベントの様子
左：田おこし（東京港野鳥公園）
右：吉野川での川遊び
（よしのがわ探検隊）



このシンポジウムは、にじゅうまるプロジェクトに参加しています。